

はりまや橋商店街

(はりまや橋商店街振興組合)

高知県高知市

！取組のポイント

イベントを中心とした様々なソフト事業展開で、老若男女問わず来街者と商業者の距離が非常に近い、心温まるコミュニティ空間を形成。

取組の背景

商店街の歩行者通行量が減少

2014年度のはりまや橋商店街の歩行者通行量は、2003年度に比べて、平日は88.8%、休日は57.9%にまで減少している。

また、全国に先駆けて人口減少が進む高知県であるが、高知市においても10年前より増加から減少に転じ、現在、人口減少と少子高齢化が急速に進んでいる。

2015年夏には上層居住型複合施設「帯屋町チエントロ」が、2016年度中には「新設図書館とこども科学館の複合施設」や「新資料館」などもできる見通しで、大規模公共施設による誘客効果が期待されている。しかしながら、これらはいずれも高知市中心商店街西エリアに位置し、東端にあるはりまや橋商店街では来街者の回遊性を高める取組が求められている。

取組の内容

住民参加型のイベントなどを多数実施

住民参加型のイベントや地域産品を取り扱ったイベントなど、あらゆる世代をターゲットにした地域色豊かでそれぞれ工夫を凝らした手作りイベントを多数実施している。また、あえてインターネットなどを使わず、「木々だより」というかわら版で四季それぞれの情報を発信しており、このような手作り感と商店街ならではのにぎわい作りが相まって消費者に支持され、連日多くの人で賑わっている。

具体的には、毎週金曜日に開催される「はりまや市」は、地域の野菜や海産物などを扱う20店ほどが出店するアーケード内の露天市であり、「はりまやサロン」は、近隣地域の燃料店が七輪を使ってレトロな食を提供し、同時にインターネットの体験教室などを行っている。また、2015年11回目の開催となった「まちなかいきいき百歳体操」は、近隣の福祉施設の旗振りのもとに当初5名足らずで始まったものが、徐々に賛同者を増やし、今では20名近くの高齢者を集める賑やかなトレーニングの場となっている。

商店街が賑わう「はりまや市」



「木々くらぶ」は、毎月第3木曜日に行われている童謡・唱歌を商店街で歌う集いであり、毎回100人近い人々が街中に歌声を響かせている。こうした小さな輪が地域の高齢者を巻き込み、コミュニティの場として大きなうねりを起こそうとしている。

ボランティアの演奏で童謡・唱歌を歌い集う「木々くらぶ」



取組の成果

平日の歩行者通行量が増加

商店街の実施する様々な手作りイベントは、あらゆる世代をターゲットにした地域密着型のものがほとんどで、商店街の魅力を伸ばす手段として非常に効果的であり、また、イベントの継続性や地道なアピールが功を奏し、現在は地域コミュニティの核として存在感を示している。

他の多くの商店街では歩行者通行量が減少する中、直近5か年を見ると、当商店街では比較的堅調に推移している。特に平日の歩行者通行量は増加傾向にあり、地域密着型の地道な取組の効果がうかがえる。

さらに、高知市全体及び中心商店街全体に比して空き店舗率が低く、地道な取組の成果の一つと言える。近年は、飲食店が中心ではあるが、「空いたら埋まる」好循環にある。

ラオスへの国際支援「はりまやストリートフェスティバル」



実施体制

当商店街においては、理事長が全体を統括し、高頻度で役員会や委員会を開催し、イベントごとに内容や役割分担などを決定している。同時に、かわら版を使った情報発信や地域サポーター及び支援機関などへの協力依頼、並びに各取組の資金計画なども同役員会を経ている。

他機関との連携も多数行っており、地域住民や企業などの地域サポーターと連携してイベントを運営している。また、必要に応じて専門家から助言をもらったり、行政機関(高知県経営支援課、高知市商工振興課)から運営支援を受けるなどしている。

キーパーソンからのコメント

はりまや橋商店街振興組合
理事長 山本 良喜



手作りにこだわって！

当商店街は観光名所“はりまや橋”の程近くにあり、本格的な木造のアーケードが特徴の商店街として地域に親しまれています。商店街の中程には150㎡程の広場があり、様々なイベントがここを中心に繰り広げられています。毎月第3木曜日には参加者100名ほどの高齢者を中心に童謡・唱歌を歌う集いの場“木々くらぶ”、毎週金曜日には商店街が賑わう“はりまや市”、高知商業高校がラオスに学校を建設する国際支援への協力“はりまやストリートフェスティバル”などの取組をしており、いずれも10年以上継続しています。

当商店街の特徴は、企画から設営まで手作りにこだわりながら自力で全ての運営をこなす事をモットーとし、継続することで組合組織の団結力を強化し、一過性で終わることなく地域と密着して取り組んでいることです。また、その他“100円商店街”“まちゼミ”など、地元で行う催事の殆どに参加して広く商店街をPRしています。

何度でも訪れたいまちへ

イベントが定着することにより多くの成果が得られています。イベントを通して周囲のサポーターから多くの賛同や感心が得られており、商店街へのテナントとしての入居希望者や入居者も徐々に増えています。今後の目標は、商店街をひとつのモールとして捉え、全店が協力して顧客に対し共通したより良いサービスを提供できるよう努めていきます。これらを通じて、空き店舗ゼロを目指し、バランスの良い店舗構成と安心・安全な何度でも訪れたいまちづくりに取り組んでいきます。

基本データ

所在地	高知県高知市はりまや町
人口	約33万人(高知市)
電話/FAX	088-882-4174/088-803-7239
関連URL	https://www.facebook.com/はりまや橋商店街-1546796288940501/
会員数	38名
店舗数	42店舗(買回り品小売店7、最寄品小売店35)
商店街の類型	広域型商店街
主な客層	主婦、会社員、高齢者

商店街概要

はりまや橋商店街は高知市中心商店街の東エリアに位置し、JR高知駅までは約750m。国道や電車通りが十字に交差するはりまや橋交差点の四周には電停やバス停があり、交通の便が極めて良い。商店街の東端には「高知よさこい情報交流館」が、西端には“よさこい節”に合わせて人形が踊る「からくり時計」があり、日曜日にはアーケード内がよさこい鳴子踊りの演舞場となる。また、周辺には幕末に活躍した土佐の偉人「河田小龍」「長岡謙吉」「武市半平太」たちの屋敷跡もあることから、近年は県外客の来街が増加している。